

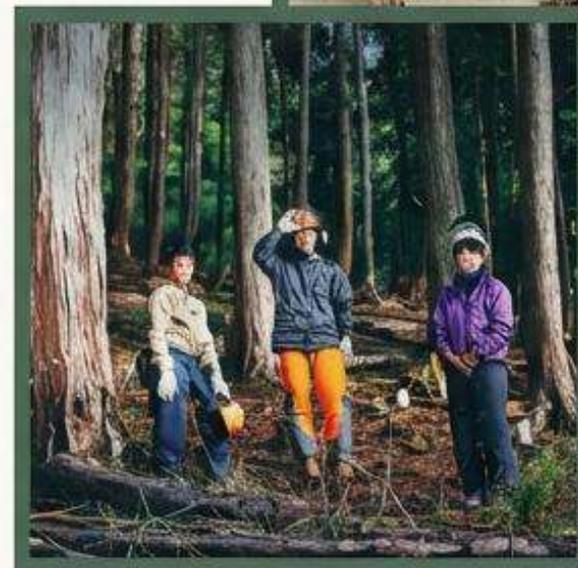
ろうきょうオンラインセミナー⑤

地域の魅力、 新しい産業の創造

～労働者協同組合で地域を活性化～

日本労働者協同組合連合会（ワーカーズコープ連合会）

理事長 古村伸宏

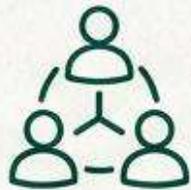


今日の話



1. はじめに: これからの地域づくりに問われること

Source Han Serif JP, regular



2. 労働者協同組合の地域づくり:

「協同労働」を中心に据えて



3. ローカルから編み出す経済:

国の政策（厚労省・経産省・環境省）の活用



4. つながりをつなぐ事例:

全国の多様な実践から

これからの地域づくりに問われること

画一的で工業的な「効率優先」 → 多様で有機的な「つながり」へ



① ローカルを感じられる個性
働く、住む、立ち寄る、関わる魅力



② 「関係」が資本となる経済
三方（売り手・買い手・世間）よしの
価値観を体現する経営



③ 生命の尊厳と生態系の保全
共生・共存・利他の精神



④ 「協同」による持続可能性
当事者性と主体性の醸成

労働者協同組合の地域づくり：協同労働を中心に

法的根拠：労協法第1条 — 持続可能で活力ある地域社会の実現に資する

多様な就労機会の創出

一人ひとりに適ったディーセント・ワークの実現

地域ニーズの事業化

地域の課題を「こうありたい」という希望の種へと転換

活力ある地域社会の実現

当事者意識とつながりから地域経営のエネルギーを創出

核となるコンセプト：協同労働

一人ひとりの違いを認め、信頼を前提とした意思決定を志向する民主的プロセス

国の多様な政策と連携し、成長する「協同労働エコシステム」

協同労働の成功は、単独で存在するものではありません。

国の様々な省庁の政策を主体的に「活用」し、「かけ合わせる」ことで、その成長は加速します。

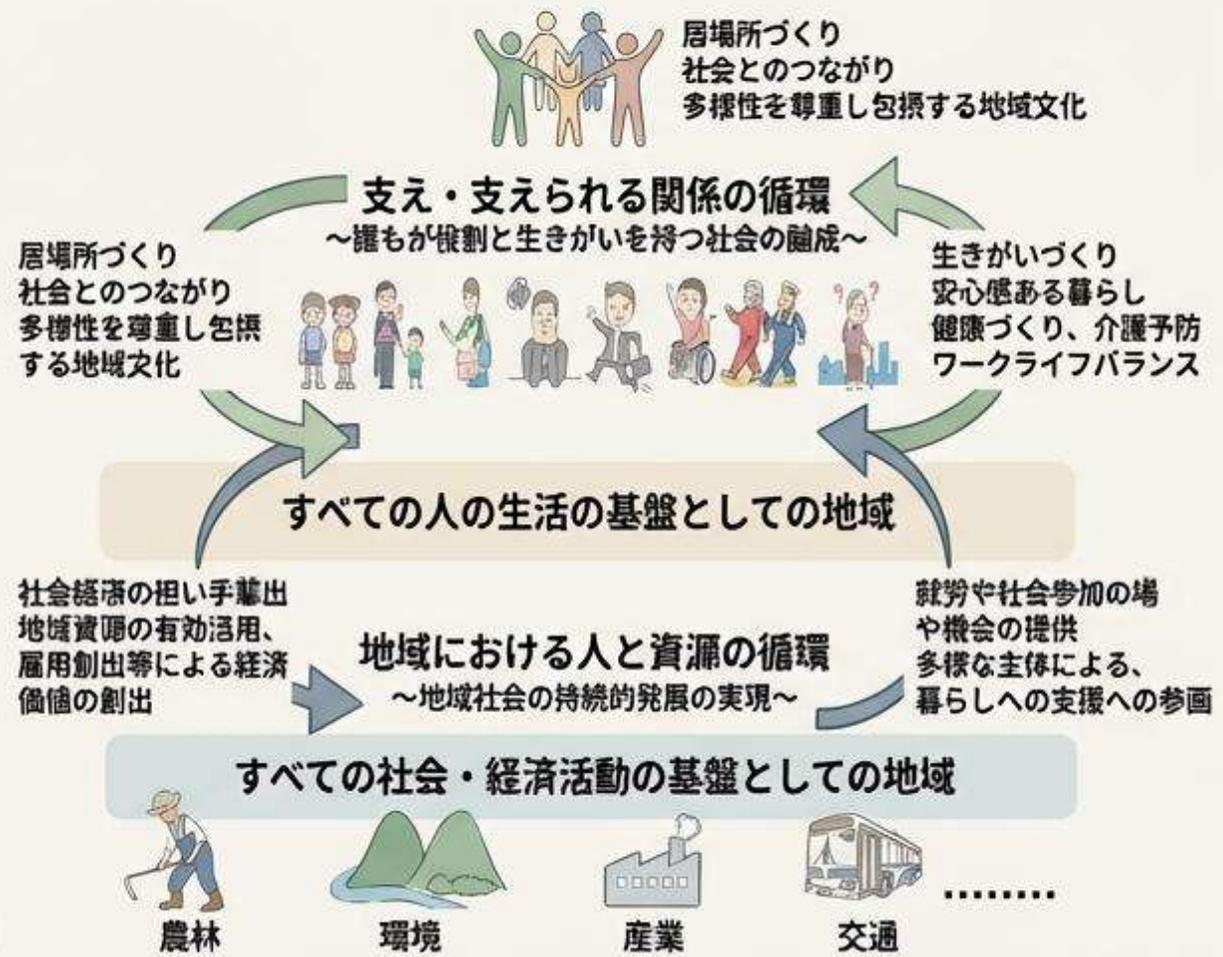
これは、地域の現実から政策を使いこなし、新しい価値を創造するアプローチです。



地域の社会と経済の基盤を築く【厚生労働省・経済産業省】

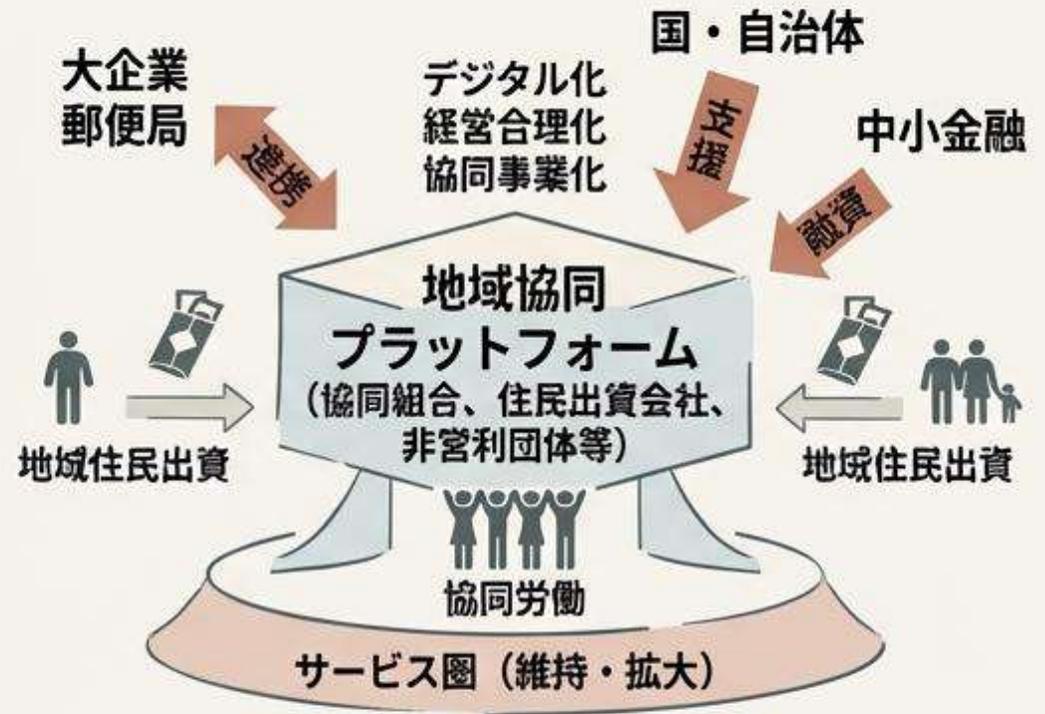
厚生労働省：地域共生社会の実現

「支え・支えられる関係の循環」を通じて、誰もが役割と生きがいを持つ社会を目指す。



経済産業省：地域協同プラットフォーム

人口減少地域でエッセンシャル・サービスを維持するため、デジタル化や協同化による新たな共助型事業体を創造する構想。



デジタル化、協働事業化、協同労働等により形成された新たな共助型事業体「地域協同プラットフォーム」によって、基盤的サービスの供給圏を維持・拡大

環境省が提唱する「地域循環共生圏」

自立・分散型の持続可能な社会を目指して

コンセプト：

地域の資源（自然、人、モノ、資金）
を活用して環境・社会・経済の課題を
統合的に解決し、事業を生み出す

「地域プラットフォーム」を形成。
地域同士が支え合うネットワークで
「自立・分散型社会」を構築する。

3つの原則：

- ①地域の主体性（オーナーシップ）、
- ②地域内外との協働（パートナーシップ）、
- ③環境・社会・経済課題の同時解決



【実践事例①】地域の文化と新しい産業を創造する



栄町労働者協同組合（沖縄県那覇市）

シェア型書店「栄町共同書店」

-  クラウドファンディングで290万円以上を集め、地域の文化拠点を創出。
-  多様な棚主が参加し、本を通じて人と人がつながる新しい書店の形を提案。

労働者協同組合鮭酒造（千葉県）

クラフトサケ醸造

- 「みんなの酒蔵」をコンセプトに、クラウドファンディングで370万円以上を調達。
- 地域の米を活用し、酒造り体験も提供する参加型ブルワリーを目指す。



このプロジェクトは、2024/11/22に開催期間満了し、¥3,705,833円のお集まり額を達成しました。2025/01/18に終了

【実践事例②】地域の課題を解決し、暮らしを支える



労働者協同組合YURAMEKI（愛知県新城市）

空き家活用による宿泊施設運営

-  地域の深刻な課題である空き家問題を、魅力的な観光ビジネスに転換。
-  地域住民が力を合わせ、課題解決から資金と雇用を生み出す好循環モデル。



労働者協同組合スキマプレイヤーズ（島根県）

地域の「スキマ」仕事への対応

-  農地の草刈りなど、行政や市場では対応しきれない地域の小さな困りごとを事業化。
-  「新しい繋がりを創出する」を理念に、集落の維持と活性化を目指す。

【実践事例③】 人と自然資本を育み、多分野連携を促す



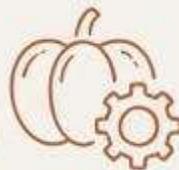
ワーカーズコープ・センター事業団（兵庫県豊岡市） 若者就労支援から「森の百業」へ



- 若者支援から発展し、森林保全、環境教育（森のようちえん）などを多角的に展開。
- 豊岡市のOECM・30by30施策と連動し、地域の生態系保全に大きく貢献。



ポンプアップせきかわ（新潟県関川村） カボチャの六次産業化と多分野連携



- 民間企業出身者や地域おこし協力隊員など、多様なメンバーで構成。
- 介護予防事業で集まる高齢者と連携するなど、分野を超えた協同を実践。

職場は、民主主義を学ぶ「自治の学校」である

日常的な対話と、

対等な立場での意思決定。

この「自治のトレーニング」ともいえる経験が、

一人ひとりの主権者意識を育み、

活力ある地域社会の基盤を再構築する力となる。

未来を拓くための3つの探求テーマ

1



① 開放性の組織論

いかにして地域に開き、他者をパートナーとして経営に迎え入れるか。

2



② 価値評価システムの開発

非貨幣的な価値を「社会的インパクト」として可視化し、共感と投資を呼ぶ指標をどう作るか。

3



③ 波及プロセスの実証

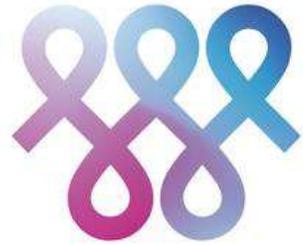
職場の自治体験を、地域全体の民主主義の再構築へどう繋げるか。



「わたし」からはじまり、「わたしたち」の協同へ

協同労働は、地域の課題を解決するだけでなく、
分断された社会関係を修復し、
一人ひとりの尊厳を回復するムーブメントです。

現場で汗を流し格闘し続ける私たち自身が、
未来の当事者たちへとこの希望の物語を語り継いでいく。



ワーカーズコープ連合会

JAPAN WORKERS' COOPERATIVE UNION

日本労働者協同組合連合会（ワーカーズコープ連合会）

<https://jwcu.coop/>